



ホームページ



Instagram

藍サポ通信～明日に向かって～に掲載されている写真は、本人又は保護者の同意を得て掲載しています。



新しい事業所内を少し紹介します！

先日8月1日よりひらのの作業所は、今までの平野南から西事業所のすぐ近く平野西に移転しました。新事業所の内装も新しく今までよりも広くなっています。新しくなった事業所に利用者さん少し新しい所に対するドキドキはありながらも、フロア内を色々見て歩き嬉しそうにされています。移転後、約ひと月が経ち利用者さんも職員も少し慣れてきたところです。

引っ越しました。

まず玄関から入って右側、みんながメインで過ごす部屋と食堂になっています。昼休みにはみんなでのんびり身体を伸ばして過ごすラゲも今までより広くなり、仲間の憩いの場になっています。食堂は、大きなショーウィンドウに面しており道行く車や人々を眺めながらおいしい給食を食べています。



トイレも今までよりも数が多くなくなり、順番待ちをしなくてもらう事もなくなりました。



まだまだ移転したばかりで、「もうちょっとこうした方がいいかな？」「あれがあった方が良くないかな？」など利用者さんと職員みんなで考えて話し合ったりしながら、もっとと過ごしやすい場にしていきたいです。

また、正面入り口にある大きなショーウィンドウに創作活動で作った作品や木工部のキーホルダー、手作りハガキなどを飾り、地域の方にみんなの活動を知っていただければいいなと思っています。

くれよん夏祭り♪

今年もコロナ禍ではありませんが、くれよん夏祭りが開催されました！普段から取り組んでいる手洗いやマスクの着用だけでなく、アクリル板の設置やお店ごとでの手指消毒をしたりといつも以上に感染対策をしながら、子どもたちがお店さんとお客さんとして楽しんで参加していました。

初めは「どんな風になるのかな？」と緊張していた子どもでしたが、お客さんが来る前に皆で一緒に「いらっしやいませ〜！」と事前に掛け声やお店番の練習をすることで、本番では自信を持って取り組めていたようです。



また、各お店ごとで職員と一緒に飾りつけをしたり、子供たち自らで事前にルールを確認して「こんなふうかな？」と提案して楽しめるような要素を足している姿もありました。



出店では、毎年人気の射的や手作りワニワニパニック、新しくなったガチャポンでのくじ引きにスマートボール等盛り沢山でお客さんと一緒にワクワクしている店員さんもありました！

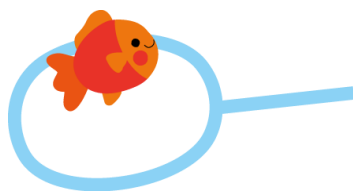
受付ではチケットを渡す前に検温と消毒をしていました。



お客さんとして参加していた子どもたちは、お祭りの後もおやつを食べながら貰った景品を眺めたり、お友達や職員と遊んでみたりと楽しんでいたり様子がありません。お店側で頑張っていた子どもたちは、お客さんが帰った後に「自分たちもしてみたい！」と順番にお店のゲームで遊んでみたり、おやつを食べながら「お疲れ様会」をしてホッとひと息ついていました。



コロナ禍の為おでかけやイベントへの参加が少なくなっている中で、子どもたちの協力のおかげで、感染対策をしながら今年度も夏祭りが開催出来ました。また以前のように、お互いの顔を見ながら楽しめる日が来るといいなと願っています。



グループ2

事業所玄関前での販売活動始めました！

グループ2は、自社製品の作成を活動内で取り組んでいます。自社製品の販売活動として、注文用紙やお知らせを配布して購入して頂いたり、地域のバザーに参加して販売しています。ここ数年コロナの影響もありバザーへの参加も自粛せざるを得ない状況となっていました。

授産委員会では販売の機会が減り、地域の方との関わりが減ってしまいましたが、販売の機会を継続できるか話し合いをたくさんしてきました。みんなでも考え何度も授産会議を開き色々な案が出た中でも、地域の方たちに知ってもらおう事を一番に考え玄関前での販売を行うことに決めました。



「いつから販売しよか？」これから暑くなるし、お客さん来てくれるかな。等話し合いがありました。しかし、やると決めたら即行動！「梅雨時期やけど6月から始めてみよう！」との意見もあり、第1回目は6月に開催する事になりました。



当日はグループ2の利用者さん全員で机や商品の準備・配置等をして、開店時には店頭立ち接客も頑張っています。お店は1時間だけのオープンで、第1回目はあいにくの雨で

不安もありましたが近隣にある福祉事業所の方たちや、ご近所のご婦人、利用者さんの家族の方が来て下さり玄関先も大賑わいでした。利用者さんも少し恥ずかしい気持ちも見え隠れしていましたが、お客さんに商品について聞かれると説明したり、自身で作成した授産品をお勧めしたりと接客も頑張っていました。



第1回目の販売活動でたくさんの方たちとふれあう事ができ、利用者さん自身が「頑張った！」「次もお客さん来てくれるかな」と話していて、とても前向きに思ってくれていくことが伝わってきました。

その後、反省会や次回に向けての取り組みまで話し合い、次に活かそうということになりました。第2回目の販売活動を7月に開催し、2回目もたくさんの方が来て下さいました。

今後の販売活動に向けて改善点や商品開発など、課題はたくさんありますが、この活動が地域の方たちとの交流の場の1つとなり、利用者さんが楽しんで取り組める活動にしていきたいと思えます。

町会の掲示板にチラシを掲示して下さいました町会長さん、利用者さんの家族さんにご協力いただき住宅内にある掲示板にチラシを掲示して下さいました。ありがとうございます。



プチレク

昨年3月から始まったコロナ禍も、早や2年目になってしまいました。支援でも行きたいところになかなか行けなかったり毎年恒例の行事が行えなかったりする中で、少しでも日々の中で楽しめる活動を増やしたいとの思いから作業を少し早めに切り上げ、昼食前の時間にプチレクを行なっています。



プチレクでは、職員がそれぞれ皆で楽しめる活動を考えて日替わりで色んな活動をしています。



ある日は絵本を読んだり、またある日はみんなでピンクレディーの「UEOI」を踊ったり、誰が一番高く空き缶を積めるか競争をしたり、風船バレーをしたりと大盛り上がりです！



また、土曜日の帰宅前は職員のギターコンサートが恒例になりつつあります。ギターコンサートは、その日によってジブリ特集や「おおかさんといっしょ」の曲特集など、みんなが好きな曲と一緒に歌いながら楽しんでいます。

そして、最後のあいさつの前には小さなスペシャルゲストが来て、皆と少しケロケロお話ししています。これからも感染予防に気を付けながら、みんなが楽しめる活動をどんどん行なっていきます。

